

試作成績からみた「スズカリ」(だいず東北69号)の特性

長沢 次男・村上 昭一・橋本 鋼二

(東北農業試験場)

Characteristics of Suzukari, Daizu Tohoku 69, a New Soybean Variety
Tsugio NAGASAWA, Shouichi MURAKAMI and Koji HASHIMOTO
(Tohoku National Agricultural Experiment Station)

1 来 歴

スズカリは昭和48年に、東北農業試験場刈和野試験地において、オクシロメ程度のシストセンチュウ抵抗性を有し、白目で粒が大きく、多肥密植適応性の高い品種の育成を育種目標とし、北海道の鶴の子銘柄に属するユウヅルを母、シストセンチュウに強く多収なオクシロメを父として人工交配し、雑種第1代を世代促進した後、選抜・固定を図り、54年に刈系151号、翌年にF₈代で東北69号の系統名を付し、各地で試作を始めた。しかし55年黒とう病に対し罹病性の分離個体が認められたので、育成中の系統を個別に検定し58年には抵抗性で固定していることを確認した。60年6月だいず農林83号として農林登録された。

2 各地の試験成績の概要

スズカリは、東北6県、北陸3県の12場所において2箇年以上の試作が行われた。図1に東北各地の収量比較を要約して示した。標準品種と比較して平均105%以上の収量比を示したのは4県の7場所である。

この中で、成熟期、障害の程度、粒の大きさ、品質などについて問題が少ないのは、東北中北部～北部である(表2)。

3 育成地の試験成績

標準播(5月28日前後)と転換畑(6月5日前後)の試験成績を表1に示した。

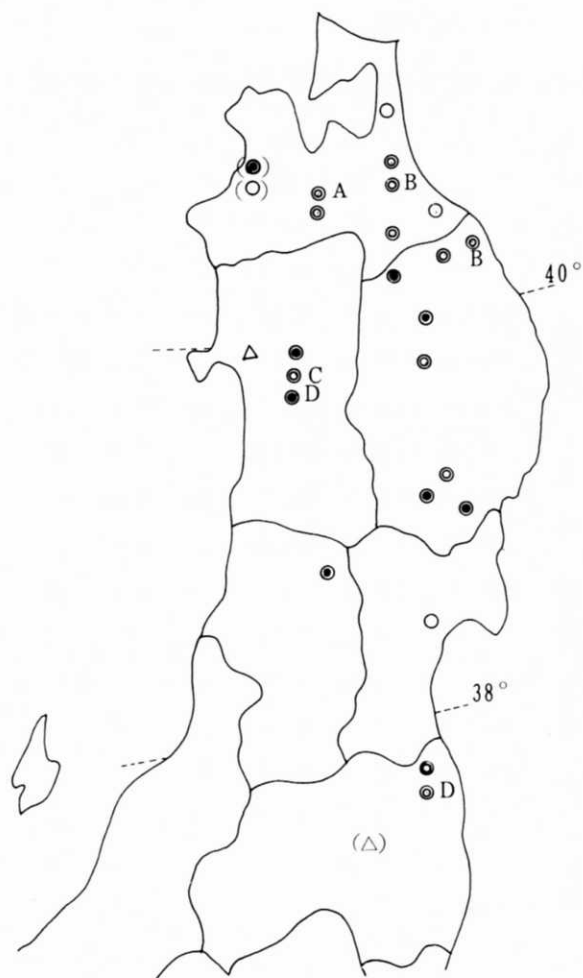
標準播きにおける開花期は7月29日で、オクシロメと同じ、シロセンナリより4日早い。成熟期は10月9日で、オクシロメより7日、シロセンナリより3日早い。

成熟期の早晩については中で、東北中北部では中生種にあたる。

標準播、転換畑を通じ、主茎長はオクシロメやシロセンナリと同じかやや短い中で分枝数はオクシロメやシロセンナリより多く中である。蔓化・倒伏の程度はオクシロメより優れ、シロセンナリ並の強である。

百粒重は中粒種のシロセンナリやオクシロメより平均して3～6g大きく中の大粒にあたる。

子実収量の平均は、標準播ではシロセンナリ、オクシロメより14～16%、転換畑では両品種より18～17%それぞれ多収であった。



子実重の標準品種対比(%)

◎	●	○	△
115	105	95	85
以上	114	104	94

図1 スズカリの試作地における標準品種との収量比較

注. 2箇年以上の試作地、ただし()内は1箇年、
A: 早播(早・中生) B: ヤマセ適品種選定、
C: 転換畑標準播、 D: 晩播、 無印: 標準播

4 主要病害抵抗性

(1) ウイルス病抵抗性: スズカリはオクシロメ並の中で、東北中部以北では山白玉やムツシラタマが罹病し、褐斑粒を発生する場合でも罹病は稀である。しかし、ダイズモザイクウイルスのC及びD系統の発生する地域での栽培はさけた方がよい。

表1 育成地における試験成績

栽培 条件	品 種 名	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	主 茎 長 (cm)	分 枝 数	生育中の障害		a 当たり 収 量 (kg)		子実重対比 (%)		百 粒 重 (g)	障 害 粒 程 度			品 質
						蔓 化	倒 伏	全 重	子 実 重	標品 準種	比品 較種		紫 斑	褐 斑	裂 皮	
標準 播	スズカリ	7.29	10.9	61	3.4	無～微	無～微	49.2	26.9	114	116	26.5	微～少	無	無～微	中上
	シロセンナリ	8.2	10.12	70	2.6	"	"	46.2	23.7	100	103	23.5	少	"	"	中中
	オクシロメ	7.29	10.16	65	2.9	"	"	46.0	23.1	97	100	21.4	微～少	"	微	"
転換 畑	スズカリ	—	—	77	3.8	微	微～少	65.4	35.9	118	117	30.4	微	"	無～微	中上
	シロセンナリ	—	—	77	3.1	無～微	"	59.0	30.4	100	99	25.2	"	"	無	中上～中中
	オクシロメ	—	—	80	3.8	微	中	62.9	30.7	101	100	24.1	微～少	"	微～少	中中

注. 昭和54～59年の平均。

表2 適応地帯における試験成績

試験 場所	品 種 名	成 熟 期 (月日)	子 実 重 (kg/a)	子実重対 標準比(%)	百 粒 重 (g)	障 害 粒 程 度	品 質	試験年次 (昭和)
						褐 斑		
青 森 畑 園	スズカリ	10.18	32.0	115	28.7	無	上下	54～59
	ムツシラタマ	10.20	27.8	100	30.2	無～微	中上	
	オクシロメ	10.25	31.3	113	21.8	無	上下～中上	
	スズカリ	10.16	37.9	130	28.2	無	上中	58～59
	ムツシラタマ	10.23	29.1	100	29.3	無～微	中中	
	オクシロメ	10.28	33.5	115	21.5	無	上下～中上	
青 森 農 試	スズカリ	10.15	34.0	128	33.0	無	上中	55～56
	ムツメジロ	10.1	26.6	100	27.6	甚	下	
	スズカリ	10.13	37.7	114	27.9	無	上中	56～59
	オクシロメ	10.19	33.0	100	22.3	無	上中	
横 浜 町	スズカリ	10.13	36.8	101	28.8	無	上下	58～59
	ムツシラタマ	10.20	36.6	100	30.9	無	中上	
	オクシロメ	10.24	32.4	89	24.4	無	上下～中上	
岩 手 県 北	スズカリ	10.19	28.5	121	30.5	無～微	中上	54～59
	山 白 玉	10.22	23.5	100	28.7	少	中中	
	ナンブシロメ	10.16	25.8	110	24.0	無～微	中上	
岩 手 県 農 試	スズカリ	10.13	30.3	128	30.3	無	上下～中上	56～59
	山 白 玉	10.19	23.6	100	29.9	微	中上～中中	
	ナンブシロメ	10.14	27.3	116	24.1	無	中上	
岩 手 県 南	スズカリ	10.17	33.7	145	31.6	微	中上	55～59
	山 白 玉	10.21	23.3	100	32.2	中～多	中下	
	ナンブシロメ	10.14	29.4	125	27.1	無	上下	
種 市 町	スズカリ	10.15	23.1	142	28.6	無	中中	57～59
	山 白 玉	10.19	16.3	100	26.2	無	中中～中下	
	ナンブシロメ	10.13	17.3	106	21.9	無	中上～中中	

注. 1) 青森畑園の下段はヤマセ適品種の選定成績, 青森農試の上段は早播(早・中生)成績。

2) 横浜町, 種市町は現地の成績。

(2) 線虫抵抗性: スズカリはシストセンチュウ抵抗性が強い。育成地で線虫生息密度の高い圃場に栽植した成績では, 普通畑標準播と比較した子実重の平均は抵抗性強のオクシロメよりやや低いが, ライコウよりやや高く, 感受性のシロセンナリより平均41%も高い。

5 総 括

スズカリは, 適応地帯の東北中北部において中生種で, 同地帯の多収な主力品種であるオクシロメ, ナンブシロメにくらべおおむね多収である。また, 粒大が中の大粒であり, 上記品種に較べ大きい優点を具備している。更に, 適

応地帯で問題となるウイルス病に対しても強いので, 北東北の主力品種として大豆生産の安定化を図り得ると期待される。

シストセンチュウ抵抗性を有するので, 発生懸念される地域での作付が期待される。

本品種栽培上の一般的な注意事項としては, ①ダイズわい化病に対する耐病性はないので発生懸念される地域では, 浸透性殺虫剤の土壌施用などアブラムシの防除対策をとる。②晩播すると成熟期が遅れる傾向があるので, 適期播種に努める。③地温が低いと, 出芽が遅れ, 出芽率低下のおそれがあるので, 適期播種, 種子消毒などを行う。